

- 狂犬病予防集合注射……………2面
- 1割負担の新しい保険証郵送…2面
- 花粉症や感染症の予防
十分な対策で快適な日々を…4面
- 「シニアカレッジ」で生きがいづくり…5面
- 市奨学生募集……………6面
- 進学・就職・転職に伴う
手続きはお早めに……………8面



▲施政方針演説を行う大久保博市長

次の世代に誇れる 活力と希望あふれる いちかわの未来へ

平成24年度 施政方針

市議会定例会初日(2月13日)、大久保博市長は、平成24年度の市政運営に臨むに当たり、市政運営の基本方針、新年度の重点施策と主要な施策からなる施政方針を明らかにしました。その概要を紹介します。

★全文は市政情報センターや市公式Webサイトでご覧になれます。

市政運営の基本方針 ◆災害に強いまちづくり ◆新しい街づくりへの取り組み ◆これまで進めてきた事業の着実な推進

新年度は、震災への対応を強化し、住んでみたいまち、住み続けたいまちであるために新たな街づくりの一步を踏み出していくとともに、都市計画道路3・4・18号の整備など、長い間取り組んできたプロジェクトを着実に推進します。

新年度の重点施策

市民の生命や財産、健康を守るための「安全対策」を積極的に講じたうえで、「第二次基本計画」のまちづくりの目標である「安心で快適な活力のあるまち」を目指した施策を推進します。

1. 安全対策(震災対策・放射能対策)

- 木造住宅防災リフォーム推進事業による減災対策への助成
- 保育園・放課後保育クラブに非常用食糧や飲料水等を備え、緊急時対応を図る
- 耐震強度が不足している本庁舎について市民の意見を聴きながら整備方針などを定めた基本構想を策定
- 新たに地震被害想定を行うなど、現状を踏まえた防災計画の見直しを図る
- 公共施設等の放射線量の測定や集水桝の清掃、砂場の管理、土砂や雑草の除去などの低減対策の実施とともに、家庭でできる低減対策を発信していく
- 学校・保育園の給食食材及び提供された給食の放射性物質検査を実施

2. 安心で快適な活力のあるまちづくり

① 安心なまちづくり

- 新たに160人の定員を確保するため、民間保育園の整備に対する経費の一部を補助
- 保育環境の向上と待機児童の解消のため、一定の基準を満たす簡易保育園に補助金を交付
- 小・中学校等に3人以上の児童生徒が在学する世帯において、3人目以降の給食費の無料化を開始
- 小・中学校15校で校舎の耐震補強を実施
- 安全で安心できる社会の実現のため、「市川市暴力団排除条例」を制定
- 防災、衛生環境等の課題に対応するため、空き家等の適正な管理の制度を創設

② 快適なまちづくり

- 市民と協働で花苗づくりを行い、「ガーデニング・シティ いちかわ」を推進
- 平成27年度の完成を目指した都市計画道路3・4・18号の整備を推進
- 新たな整備個所の公募等を行いながら、車がすれ違えるスペースを設ける「まごころ道路」の整備をさらに推進
- 京成八幡駅西側の踏切を市道の幅員に合わせて拡幅

③ 活力のあるまちづくり

- 企業の技術発表や商品の展示を行う「ビジネスプラン発表会」を近隣市と協力して開催
- アイ・リンクタウン展示施設に本市や近隣の観光・物産を紹介、販売するコーナーや喫茶スペースを設置
- 第1期工事である住宅棟・業務棟の平成25年度完成に向け、本八幡駅北口A地区市街地再開発事業の着実な推進を支援
- 市街化区域に囲まれた市街化調整区域の地域特性に応じた土地利用ルールを検討
- 武蔵野線沿線の街づくりに向け、土地利用の可能性について検討

新年度の主要な施策

総合計画の5つの基本目標に沿った、新年度の取り組みを紹介します。

- 真の豊かさを感じるまち
東京ベイ浦安市川医療センター新病院が4月から18診療科目でオープン
- 子育て支援の充実
子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を24年度も全額公費負担で実施するとともに、新たにおたふくかぜの接種開始年齢を2歳から1歳に引き下げて実施
- 民間や行政の子育て支援情報をリアルタイムで発信する「子育て応援サイト」を開設
- 商店街の空き店舗を活用した地域ケアシステム拠点の整備を支援
- 介護保険サービスに24時間対応の定期巡回・随時対応型サービスを導入
- 学校におけるICT環境向上のため、電子黒板機能付プロジェクトなどを活用する学習支援システム等を整備
- 江戸川河川敷を会場とした総合訓練のほか、津波避難や帰宅困難者訓練等を行う、九都県市合同防災訓練を実施
- 平成25年度に開始される6市による消防指令業務の共同運用及び消防救急無線のデジタル化を推進
- 市街地の浸水被害の軽減を図るため、外環道路事業と合わせて大和田ポンプ場の建設に着手
- 西部公民館のエレベーターの設置と平成25年度に完成する大野公民館のエレベーター設置と研修室増設の工事を開始
- 省エネルギーの推進のため、公共施設のエネマネシステムをさらに整備し、エネルギー使用の合理化を図る
- 住宅用太陽光発電システム設置費用の一部を助成
- 国分川調節池を有効活用するため、中池の上部を多目的広場に活用する設計を実施
- クリーンセンターを平成35年度まで使用できるよう延命化工事を計画的に実施
- 自治会などが設置する防犯灯のLED化を促進
- 自治会の集会所施設について、新たに土地の購入などに対する補助制度を創設
- 住基カードを使ったeサービスに、新たに税の証明書・戸籍の証明書を4月から追加

一般会計の予算規模は過去最高

平成24年度予算は、クリーンセンター延命化事業等の大型建設事業がピークを迎えることから一般会計の予算規模が過去最高となる一方、歳入において市税が減少すること等から基金(市の貯金)からの取り崩しを増額するなど、大変厳しい予算編成となりました。これからも、魅力あふれる市川へ向けて健全な財政運営に努めます。

新年度の予算総額2,130億円

平成24年度一般会計予算は1,338億円、対前年度比0.9%の増となっています。一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた全会計の総額は2,129億8,000万円、対前年度比1.7%の増となっています。(財政課)